

## 40 周年に寄せて

城山小学校長 廣岡 英明

城山町 40 周年記念、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。また、平成 29 年度に城山小学校に赴任し、教頭として 2 年間、そして校長として 2 年間で地域の皆様方の学校への温かいご支援に恵まれながら過ごさせていただきましたことに改めて感謝申し上げます。

緑に囲まれた閑静な住宅地にある城山小学校。毎春、校庭の西側から臨む丘陵地一面が桜色に染まる壮観な眺めに感嘆しますが、それも地域の方々の植樹によるものと聞きました。桜の後にはハナミズキが、その他にも季節ごとに花壇やプランターに植えられた花々が目を楽しませてくれます。豊かな自然に加えて、居住されている方々の地域を愛する気持ちが作り上げた心豊かな環境であると感じます。それが、子どもたちを見守る眼差しにも表れ、温かさが優しく、心地よく伝わってきています。

城山小学校創立 10 周年記念のスローガンである「緑の中の輝く子」は、まさにこの環境があってこそのものであり、現在に至るまで城山小学校を象徴するスローガンとして引き継がれています。この恵まれた環境の下、いかにして「緑の中の輝く子」を育てていくのか。城山小学校教職員は常に念頭に置き、教育活動に取り組んでいます。

この素晴らしい自然環境は開校当時と変わらず年月を重ねていることと思います。一方で、城山小学校では平成 24 年度の児童数が 148 名でしたが、平成 30 年度には 70 名となり、複式学級が誕生しました。そして、令和 3 年度には 39 名となりました。

また、元号が令和に改まった年度に学校では未曾有の出来事が起こりました。新型コロナウイルス感染症拡大により、令和元年度末から令和 2 年始めの延べ 3 か月にも及ぶ期間が臨時休校となりました。再開後の学校生活にも新しい生活様式が求められています。学校から頭を寄せ合い話し合う学習も、大きく元気な歌声も、向かい合い楽しい会話をしながらの給食も、これまで当たり前であった学校生活が行えない大きな変化となりました。

さらに、令和 3 年度には G I G A スクール構想により一人一台端末配付となりタブレットを用いた学習が開始され、校内での通常の学習のみならず、感染症拡大防止の観点からリモートによる集会等の実施も日常化しつつあります。

このように児童を取り巻く社会環境は劇的に変化しています。しかし、視点を変えて考えてみると、少人数だからこそ一人一人の間隔をあけた安全な教育活動が行えます。個に応じて丁寧に指導も行える利点となります。タブレット活用により他校と情報交換する活動もでき、少人数では叶わなかった多くの子どもたちとのやり取りが可能となってきました。少人数であるからこそ他にはない充実した教育活動を実践していき、これからの城山町の行く末を担う児童を教職員一丸となって育成していきたいと思っています。

今後もさらなる社会情勢の変化が予想されますが、それに対応できる児童の育成が「緑の中の輝く子」を育むことになると考えております。これまで以上に保護者、地域の皆様との連携が重要となってきます。50 周年に向けて、共に一步を踏み出していけるよう教職員も精進を続けて参りますので、今後とも城山小学校の児童のために変わらぬご支援をお願いいたします。



金井沢碑見学

ビオトープ